

# 留 学 報 告 書

記入日:2019年5月22日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 現地言語: California State University Long Beach
留学期間	2018年8月～2019年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年5月23日
明治大学卒業予定年	2021年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月中旬 2学期:1月下旬～5月中旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	\$8000	864000円	
食費	\$1800	194400円	
図書費	\$200	21600円	
学用品費	0	0円	
教養娯楽費	0	0円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	\$3000	324000円	形態:明治大学と現地の大学どちらの保険も入りました
渡航旅費	\$1388	150000円	
雑費		円	
その他	-\$7407	-800000円	
その他	-\$2777	-300000円	
その他		円	
<b>合計</b>	<b>\$4204</b>	<b>454000円</b>	

## 渡航関連

渡航経路: 往路は韓国経由、復路は直行便

渡航費用

チケットの種類 \_\_\_\_\_

往路 \_\_\_\_\_ 70000

復路 \_\_\_\_\_ 80000

合計 \_\_\_\_\_ 150000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

シェアハウス

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 \_\_\_\_\_ )

3) 住居を探した方法:

現地の大学の Housing のサイトから探した

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

行く前にはどんな家か、どんな人が住んでいるかは写真などでしかわからないため、いい家に当たる人もいれば、あまり良くない家に当たる人もいるなど感じた。メールなどで契約をしたら、その家のオーナーと頻繁に連絡をとり、現地の情報を仕入れることをお勧めします。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した: ツベルクリン検査のため

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学先の窓口があり、スタッフも親切だったため、頻繁に利用した

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

危険地域に関しては現地で友達になった子に聞いたり、日本人の留学生同士で情報交換をしていた。犯罪に巻き込まれることはなかった。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校と住んでいた家に Wi-Fi があり、快適にインターネットを使うことができた。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的にはクレジットカードを使っていた。また、キャッシュカードを渡航前に作り、現金が必要な時はそのカードからお金を下ろしていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
特になし
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
今後就職活動が始まるが、現時点ではホスピタリティー関連の仕事に就きたいと考えている。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学経験を通して自分の将来やりたいことや現時点で興味のあることに関して、就職活動前にある程度追究した方がいいと感じた。アメリカの学生は自分の専門分野を深く追究している学生が多い。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input type="checkbox"/> 24 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:                   )
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
HIST101	歴史
科目設置学部・研究科	History
履修期間	Fall Semester
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー形式      (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	
授業内容	アメリカの歴史に関して理解を深めるためのディスカッションを主とした授業
試験・課題など	2 週間に一度小テストがある。期末テストはなく、2度レポートを提出する。
感想を自由記入	教授の面倒見がとてよく、オフィスパワーにも行きやすかった。毎回リーディングの課題が多く、授業もディスカッションが多かったので最初は苦勞したが、最終的にはアメリカの社会の成り立ちを理解するのにとても役に立った。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
HIST112		世界史(後期)	
科目設置学部・研究科	History		
履修期間	Fall Semester		
単位数	3 単位		
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授			
授業内容	大航海時代以降の世界史を学ぶ授業。		
試験・課題など	毎週短いエッセイを提出する。また、試験ではなく、ミッドタームとファイナルの期間にレポートを計2回提出する。また、ブックレポートの提出もある。		
感想を自由記入	教授自体は愉快な人だが、かなり適当な人でもあるので、役に立つような授業ではなかった。単位を取ることは簡単だが、レポートの採点は辛めなので、いい評価をもらうのは難しい。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
HFHM170		ホスピタリティマネジメント	
科目設置学部・研究科	Hospitality Management		
履修期間	Fall Semester		
単位数	3 単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授			
授業内容	ホテルやレストランの仕組みについて学ぶ		
試験・課題など	ホテルのマネージャーにインタビューをして、レポートを書いたり、自分の将来についてのプレゼンをしたりした。課題は多いが、難易度はあまり高くない。テストはオンラインで行う。		
感想を自由記入	授業自体はつまらないが、プロジェクトやインタビューの課題は将来ホスピタリティ業界で働きたいと考えている人にとってはとても役立つ内容になっている。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
SOC100		社会学	
科目設置学部・研究科	Sociology		
履修期間	Fall Semester		
単位数	3 単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授			
授業内容	アメリカの社会の仕組みや社会の動き方など、哲学的な部分にも触れながら社会学の基礎を学んで行く。		
試験・課題など	毎週オンラインのテストがある。試験はなく、毎週の小テストの結果、Attendance、3回のレポートで評価がきまる。		
感想を自由記入	教授の話の内容が面白く、学生の興味を掻き立てるようなものだったので、楽しみながらアメリカ社会について学ぶことができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
ASAM120		アジア系アメリカ学	
科目設置学部・研究科	Asian American Studies		
履修期間	Spring Semester		
単位数	3 単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	セミナー形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授			
授業内容	Asian American の歴史について学ぶ。(基本的にアジアからの移民の歴史)		
試験・課題など	Midterm Exam は試験で、Final Exam はレポート課題だった。		
感想を自由記入	基本的にグループでの授業内課題が多かったが、グループのメンバーで話し合いながら、アメリカにきたアジアからの移民について深く考えることができたから良かった。教授がとてもいい人。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
AFRS121		ブラックスタディー	
科目設置学部・研究科	African American Studies		
履修期間	Spring Semester		
単位数	3 単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授			
授業内容	Civil War 後のアフリカ系アメリカ人がどのように白人社会での地位を高めていったのかを学ぶ。基本的に毎回の授業でかなりの Reading 課題が出されており、教授は授業内でその Reading の内容に付け足して話をしていく。レジュメやスライドなど教授からの情報共有は特にはない。		
試験・課題など	評価は2回のディスカッション、2回の試験、ブックレポートによってつけられる。試験は基本的に講義内で教授が話していたことではなく、Reading の内容から出るため、この授業ではかなりの量の英文を読むことになる。		
感想を自由記入	Reading の課題がかなり辛かった。ただ、アメリカでの Black の生活を知るにはとてもいい機会であった。たくさん文献を読んだことで理解も深まったと思う。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
AMST152		アメリカ学	
科目設置学部・研究科	American Studies		
履修期間	Spring Semester		
単位数	3 単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授			
授業内容	サーフィン文化について学習しながら、アメリカ人の生活や文化についての理解を深める。授業内ではサーフィンに関する映画を見ることが多い。		
試験・課題など	2回のレポート、ブックレポート、出席率によって評価がきまる。		
感想を自由記入	映画を見るのがとても楽しかった。サーフィンにもともと興味のある人はとったら面白いと思う。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
POSC100	政治学
科目設置学部・研究科	Political Science
履修期間	Spring Semester
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	
授業内容	アメリカの政治の仕組みや状況を他国の政治と見比べながら学ぶ。
試験・課題など	4回の試験があり、そのうちの上位3回分のテストの成績が最終的な成績に反映される。
感想を自由記入	改めてアメリカの政治についての理解を深めることができて良かった。アメリカの人々の考え方と日本人の考え方の違いを知ることができて面白かった。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	明治大学入学、春学期で良い成績を取れるように試験前に勉強する
8月～9月	TOEFL の試験に向けて勉強、TOEFL 受験
10月～12月	出願、面接、結果発表
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	渡航、Fall Semester 開始
10月～12月	10月から11月にかけて中間試験、12月中旬に学期末試験
2019年 1月～3月	Spring Semester 開始、3月下旬に中間試験
4月～7月	5月の中旬に学期末試験、帰国
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

<p><b>留学しようと決めた理由</b></p>	<p>小学生や中学生のころから海外の人と触れ合う機会があり、英語が話せないながらも違う国や違う文化の人と繋がる楽しさに気づき、英語を話せるようになりたいという目標を高校に入る前から持っていました。大学受験の時に将来のことを考えた際に英語を話せるようになるために海外留学をしたいと思い、留学プログラムが豊富な明治大学の国際日本学部に入學しようと決めました。なので入學した時点で留学をする意思はありました。国際日本学部には自分と同じような志を持った人が多く、周りからも刺激を受けるので、入學してから更に留学への思いは強くなったように思います。</p>
<p><b>留学のためにした準備、 しておけば良かったと思う 準備</b></p>	<p>国際日本学部の英語の授業を真面目に受けることが留学への準備につながると思います。実際に英語の授業で学んだエッセイやレポートの書き方は留学中にかなり役に立ちました。また、私がしておけば良かったと思った準備はアメリカの文化を知っておくことと日本の文化を英語で説明できるくらいに理解しておくことです。アメリカのミュージシャンをたくさん知っていれば話も盛り上がりやすし、日本のことについては様々なことを聞かれます。基本的にアメリカ人は深く追究してくる人が多いので、“どうして日本にはこういった文化があるの？”と聞かれた時にちゃんと答えられるようにしておくことは大事だと思います。</p>
<p><b>この留学先を選んだ理由</b></p>	<p>一つは授業の内容です。私は将来ホスピタリティ業界で働きたいという目標があるので、ホスピタリティマネジメントの授業が豊富なカリフォルニア州立大学ロングビーチ校だったら、自分の将来やりたいことについて学んだり理解を深めたりすることができるのではないかと考えました。もう一つは立地です。世界的にも観光地として有名なロサンゼルスに近いので、日本とは違ったホスピタリティを学ぶのに適した場所なのではないかと思いました。</p>
<p><b>大学・学生の雰囲気</b></p>	<p>さすが、South California に位置する大学とあって、国際色が豊かです。様々な国から来た学生がいます。賑やかなことが好きな学生が多いというイメージです。また、ほとんどの学生が自分の車を運転して毎日通学しています。パーキングのエリアが想像をはるかに超える大きさと数です。大学の設備は整っていて、特に学生に無料で開放しているジムにはランニングマシンや筋トレをするマシンはもちろん、バスケ、バレエ、クライミング、バドミントン、スカッシュ、ダンスなどができる施設が整っています。</p>
<p><b>寮の雰囲気</b></p>	<p>寮には入りませんでした。</p>
<p><b>交友関係</b></p>	<p>留学当初はアメリカ人と英語を話すというだけで緊張してしまい、友達を作るのも大変だなと思っていましたが、誰かに遊びに誘われたら断らずに必ず行くようにしていたらだんだんと輪が広がっていきました。最終的には毎週のように遊ぶ仲間ができて、一緒にジムに行くような仲間ができてもしました。また、Spring Semester では wedding のインターンにも参加しました。一緒に働くことで自然と絆が生まれて、インターンの仲間とも仲良くなれました。</p>
<p><b>困ったこと、大変だったこと</b></p>	<p>やはり言語の壁にかなりつまづきました。最初は授業について行くのが本当に大変でした。先生と一緒に授業を受けているアメリカの学生が何を言っているかわからなかったり、課題が多すぎて追いつけなくなったりと心が折れそうな毎日でした。また、友達と話そうとしても会話が成り立たないことも多く、落ち込むことばかりでした。ただ3ヶ月を過ぎたあたりから現地での生活に慣れて来て、日本を離れて違う国の大学で学ぶ楽しさに気づけるようになった気がします。最初の3ヶ月は我慢の3ヶ月です！！</p>
<p><b>学習内容・勉強について</b></p>	<p>授業はついていけないことが多々ありました。小テストでひどい点数をとってしまったったり、ディスカッションについていけなかったり、落ち込むことも多かったです。ただ、教授や隣に座っているアメリカの学生に助けを求めればみんなよくしてくれます。どんなに大変でも自分のベストは尽くそうと思いながら授業を受けていました。アメリカの学生に追いつこうとすると自然と勉強の量は他の学生よりも多くなりますが、そう言った心意気で現地の学習に望むことが大事だったと思います。そのような姿勢で授業に望んでいたら、教授も更に面倒を見てくれるようになりました。</p>

課題・試験について	課題の量は日本に比べてかなり多かったです。授業にもよりますが、学生に読ませる量が尋常ではなかったです。ただ、そういった課題をしっかりこなすことで、授業で教授が何の話をしているのか理解しやすくなり、授業へのモチベーションも上がりました。また、選んだ授業は自分が興味のあることだったので多少読む量が多くてきつかったとしても、楽しみながら勉強できていたと思います。試験はエッセイが多くて大変でしたが、与えられた問題を見て瞬時に英語で自分の考えを構成していく力がついたように思います。
大学外の活動について	wedding のインターンシップに2ヶ月ほど参加しました。最初は英語で働くことに壁を感じましたが、だんだん慣れていきました。とてもいい経験ができました。また、ボランティアにも2回参加しました。1回目は病気を持つ子供たちが住む施設の掃除の手伝いをしました。2回目は大学から近いビーチでゴミ拾いのボランティアをしました。そのほかにもシェアハウスのオーナーさんの仕事場に連れて行ってもらったり、オーナーさんの親戚の集まるクリスマスパーティーに連れて行ってもらったりと、シェアハウス内での交流もありました。
留学を志す人へ	留学に行っただけで満足はしない方がいいと思います。そうならないためにも、留学先で何をしたいのか、出願をする前に明確にしておけば、留学先でも現場に満足したり、留学に行っただけで満足したりするようなことにはならないと思います。また、留学先で何をするか明確にすることは留学の選考の際にもきっと役に立ちます。留学の選考に向けても、留学が決まった後でも、自分の理想の形を追求して、努力を惜しまずに頑張ってください！！

### 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		授業		授業			
	授業	自習	授業	自習	インターンシップ	お出掛け	
午後	自習	授業	自習	授業	インターンシップ	お出掛け	インターンシップ
	授業		授業			お出掛け	インターンシップ
夕刻				買い出し	自習	お出掛け	インターンシップ
夜	自習	自習	自習		自習	自習	インターンシップ